

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式 特化型	
信託期間	2023年3月15日まで（2018年3月5日設定）	
運用方針	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの株式等に実質的に投資します。オーストラリアの株式等には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
 * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

オーストラリア高配当株式ファンド （年2回決算型）

第1期（決算日：2018年9月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）」は、去る9月18日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			（ 参 考 指 数 ） S & P / A S X 200指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 期 金 騰	中 期 落 率	(配当込み、 円換算ベース)			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2018年3月5日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	200
1期(2018年9月18日)	10,199	0	2.0	10,452	4.5	93.8	—	10

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S & P / A S X 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）とは、S & P / A S X 200指数（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / A S X 200 はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJII」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJII、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(配 当 込 み 、 円換算ベース)	騰 落 率		
(設定日) 2018年3月5日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
3月末	9,767	△2.3	9,713	△2.9	94.8	—
4月末	10,070	0.7	10,087	0.9	94.8	—
5月末	10,205	2.1	10,241	2.4	92.5	—
6月末	10,418	4.2	10,506	5.1	87.2	—
7月末	10,592	5.9	10,751	7.5	88.4	—
8月末	10,476	4.8	10,743	7.4	92.7	—
(期 末) 2018年9月18日	10,199	2.0	10,452	4.5	93.8	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

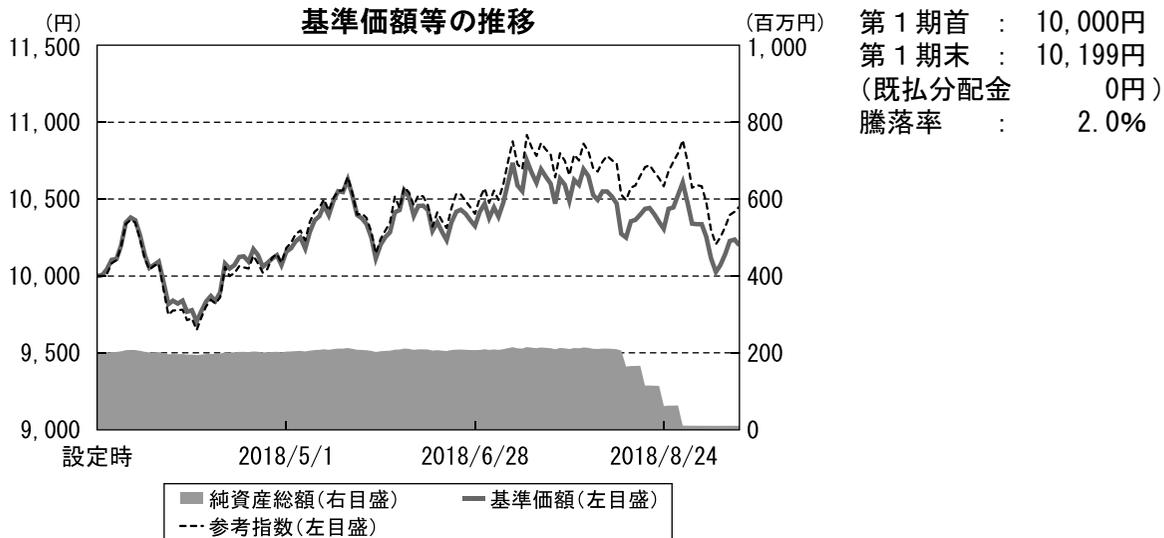
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第1期：2018/3/5～2018/9/18）

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ2.0%の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第1期：2018/3/5～2018/9/18）

◎株式市況

- ・当期において、オーストラリア株式市況は上昇しました。
- ・2018年5月中旬にかけては、国際商品市況が上昇したことなどが好感されて上昇しました。その後も良好な豪州の経済指標が発表されたことや米国株式市況が堅調に推移したことなどを背景にオーストラリア株式市況は底堅く推移しました。

◎為替市況

- ・米中貿易摩擦に対する懸念やトルコリラ急落を受けて新興国・資源国通貨安となる中、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

当ファンドは、マザーファンドを通じ、オーストラリアの企業が発行する株式を高位に組み入れる運用を行いました。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ3.0%の上昇となりました。

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・設定時以降、ポートフォリオの構築を進めました。
- ・当初ポートフォリオの構築後の主な売買銘柄は以下の通りです。

◎主な新規買付銘柄

- ・RELIANCE WORLDWIDE CORP LTD（オーストラリア、資本財）：買取により収益拡大が期待できると判断し、新規に組み入れました。

◎主な全売却銘柄

- ・NORTHERN STAR RESOURCES LTD（オーストラリア、素材）：株価が上昇し、さらなる上値余地が小さいと判断し、全株売却しました。
- ・当期においては、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスとなったものの、保有銘柄

の株価上昇などがプラスとなり、基準価額は設定時と比べて上昇しました。
パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ CSL LTD（オーストラリア、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）：市場予想を上回る決算内容を発表したことなどが好感され、株価は上昇しました。

（マイナス要因）

◎銘柄

- ・ AMP LTD（オーストラリア、各種金融）：手数料の不正徴収問題が嫌気され、株価は下落しました。

（ご参考）

組入上位10業種

2018年8月末

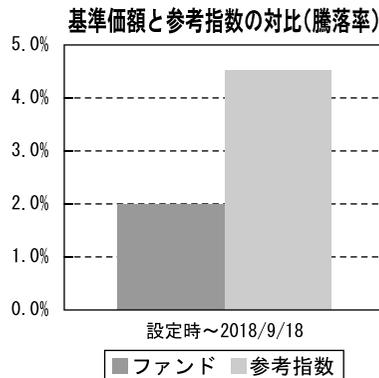
	業種	比率
1	銀行	23.72%
2	素材	19.64%
3	各種金融	8.04%
4	エネルギー	5.22%
5	食品・生活必需品小売り	5.22%
6	公益事業	4.97%
7	医薬品・バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	4.96%
8	小売	4.81%
9	保険	4.63%
10	商業・専門サービス	3.94%

・ 比率は現物株式評価額に対する割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。
- ・参考指数はS & P / ASX 200指数（配当込み、円換算ベース）です。



分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期
	2018年3月5日～2018年9月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	198

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

◎今後の運用方針

- ・当ファンドは、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する株式を高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・豪州株式市場は、米中貿易摩擦の懸念などはあるものの、豪州経済が回復基調を維持していることが下支えになると見ており、企業の良い利益成長や魅力的な配当利回りなどを背景に底堅く推移すると見ています。また、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが継続され米ドル高となる局面においては、オーストラリア企業の中でも米ドルによる収益が多くを占める企業への恩恵が期待されます。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。
- ・セクター別では、金融セクターの中でもよりディフェンシブで景気サイクルに左右されにくい保険セクターなどに注目しています。

○ 1万口当たりの費用明細

（2018年3月5日～2018年9月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	91 (52) (36) (2)	0.882 (0.505) (0.353) (0.023)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数） ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	23 (23)	0.219 (0.219)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	40 (40) (0) (0)	0.391 (0.386) (0.002) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	154	1.492	
期中の平均基準価額は、10,304円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月5日～2018年9月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 196,000	千円 196,000	千口 186,295	千円 195,250

○株式売買比率

(2018年3月5日～2018年9月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,745,137千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,119,281千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.34	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月5日～2018年9月18日)

利害関係人との取引状況

<オーストラリア高配当株式ファンド（年2回決算型）>

該当事項はございません。

<AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	百万円 3,596	百万円 262	% 7.3	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 9.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2018年3月5日～2018年9月18日）

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 200	百万円 —	百万円 190	百万円 10	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

（2018年9月18日現在）

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド		千口 9,704	千円 9,993

○投資信託財産の構成

（2018年9月18日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 9,993	% 84.8
コール・ローン等、その他	1,788	15.2
投資信託財産総額	11,781	100.0

(注) AMP オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（3,545,972千円）の投資信託財産総額（3,891,070千円）に対する比率は91.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=80.10円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年9月18日現在）

項目	当期末 円
(A) 資産	11,781,457
コール・ローン等	1,788,359
AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	9,993,098
(B) 負債	1,582,730
未払信託報酬	1,579,531
未払利息	3
その他未払費用	3,196
(C) 純資産総額(A-B)	10,198,727
元本	10,000,000
次期繰越損益金	198,727
(D) 受益権総口数	10,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,199円

<注記事項>

- ①設定元本額 200,000,000円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 190,000,000円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0199円です。

②分配金の計算過程

項目	2018年3月5日～ 2018年9月18日
費用控除後の配当等収益額	15,518円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	183,209円
収益調整金額	－円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	198,727円
1万口当たり収益分配対象額	198円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○損益の状況（2018年3月5日～2018年9月18日）

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 232
支払利息	△ 232
(B) 有価証券売買損益	1,781,686
売買益	5,139,408
売買損	△3,357,722
(C) 信託報酬等	△1,582,727
(D) 当期損益金(A+B+C)	198,727
(E) 計(D)	198,727
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	198,727
分配準備積立金	198,727

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

《第1期》決算日2018年9月18日

〔計算期間：2018年3月5日～2018年9月18日〕

「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、9月18日に第1期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) S & P / A S X 200指数		株組入比率	株先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	(配当込み、円換算ベース)	期騰落			
(設定日) 2018年3月5日	円	%	10,000	%	%	%	百万円 199
1期(2018年9月18日)	10,297	3.0	10,452	4.5	95.8	—	3,662

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S & P / A S X 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / A S X 200指数(配当込み、円換算ベース)とは、S & P / A S X 200指数(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / A S X 200はS&P Dow Jones Indices LLC(「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(配 当 込 み 、 円換算ベース)	騰 落 率			
(設定日) 2018年3月5日	円	%		%	%	%
	10,000	—	10,000	—	—	—
3月末	9,774	△2.3	9,713	△2.9	96.6	—
4月末	10,096	1.0	10,087	0.9	96.5	—
5月末	10,250	2.5	10,241	2.4	94.0	—
6月末	10,481	4.8	10,506	5.1	88.4	—
7月末	10,674	6.7	10,751	7.5	89.5	—
8月末	10,574	5.7	10,743	7.4	94.6	—
(期 末) 2018年9月18日	10,297	3.0	10,452	4.5	95.8	—

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ3.0%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は設定時の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎株式市況

- ・当期において、オーストラリア株式市況は上昇しました。
- ・2018年5月中旬にかけては、国際商品市況が上昇したことなどが好感されて上昇しました。その後も良好な豪州の経済指標が発表されたことや米国株式市況が堅調に推移したことなどを背景にオーストラリア株式市況は底堅く推移しました。

◎為替市況

- ・米中貿易摩擦に対する懸念やトルコリラ急落を受けて新興国・資源国通貨安となる中、豪ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・設定日以降、ポートフォリオの構築を進めました。

- ・当初ポートフォリオの構築後の主な売買銘柄は以下の通りです。

◎主な新規買付銘柄

- ・RELIANCE WORLDWIDE CORP LTD(オーストラリア、資本財)：買収により収益拡大が期待できると判断し、新規に組み入れました。

◎主な全売却銘柄

- ・NORTHERN STAR RESOURCES LTD(オーストラリア、素材)：株価が上昇し、さらなる上値余地が小さいと判断し、全株売却しました。

- ・当期においては、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナスとなったものの、保有銘柄の株価上昇などがプラスとなり、基準価額は設定時と比べて上昇しました。

パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・CSL LTD (オーストラリア、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)：市場予想を上回る決算内容を発表したことなどが好感され、株価は上昇しました。

(マイナス要因)

◎銘柄

- ・AMP LTD (オーストラリア、各種金融)：手数料の不正徴収問題が嫌気され、株価は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・豪州株式市場は、米中貿易摩擦の懸念などはあるものの、豪州経済が回復基調を維持していることが下支えになると見ており、企業の良好な利益成長や魅力的な配当利回りなどを背景に底堅く推移すると見ています。また、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが継続され米ドル高となる局面においては、オーストラリア企業の中でも米ドルによる収益が多くを占める企業への恩恵が期待されます。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。
- ・セクター別では、金融セクターの中でもよりディフェンシブで景気サイクルに左右されにくい保険セクターなどに注目しています。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月5日～2018年9月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 36 (36)	% 0.349 (0.349)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	74 (74) (0)	0.713 (0.712) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	110	1.062	
期中の平均基準価額は、10,357円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月5日～2018年9月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 53,081	千オーストラリアドル 45,200	百株 1,012	千オーストラリアドル 968

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2018年3月5日～2018年9月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,745,137千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,119,281千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.34

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月5日～2018年9月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,596	百万円 262	% 7.3	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2018年9月18日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末		業種等	
		評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	百株	千オーストラリアドル	千円		
BHP BILLITON LIMITED	1,141	3,608	289,048	素材	
CSL LTD	98	2,048	164,090	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALUMINA LTD	3,127	860	68,892	素材	
WOODSIDE PETROLEUM LTD	139	516	41,353	エネルギー	
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,094	3,107	248,924	銀行	
RIO TINTO LTD	197	1,439	115,266	素材	
QBE INSURANCE GROUP LTD	1,243	1,371	109,838	保険	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	424	3,045	243,910	銀行	
WESTPAC BANKING CORP	502	1,402	112,327	銀行	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	445	1,228	98,377	銀行	
BRAMBLES LTD	638	705	56,476	商業・専門サービス	
BORAL LTD	1,528	1,056	84,615	素材	
WOOLWORTHS GROUP LTD	476	1,309	104,864	食品・生活必需品小売り	
TELSTRA CORP LTD	1,791	580	46,481	電気通信サービス	
AMP LTD	2,217	709	56,844	各種金融	
MACQUARIE GROUP LTD	140	1,753	140,447	各種金融	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	906	666	53,425	保険	
ORIGIN ENERGY LTD	961	802	64,280	エネルギー	
WESFARMERS LTD	193	986	79,002	食品・生活必需品小売り	
JANUS HENDERSON GROUP-CDI	209	806	64,601	各種金融	
DOWNER EDI LTD	1,378	1,090	87,323	商業・専門サービス	
OIL SEARCH LTD	1,170	1,036	82,988	エネルギー	
AGL ENERGY LTD	467	904	72,441	公益事業	
ATLAS ARTERIA	1,314	946	75,810	運輸	
DULUXGROUP LTD	864	680	54,484	素材	
AURIZON HOLDINGS LTD	1,382	581	46,610	運輸	
REGIS RESOURCES LTD	2,033	807	64,659	素材	
APA GROUP	1,221	1,199	96,074	公益事業	
JB HI-FI LTD	204	515	41,282	小売	
CYBG PLC - CDI	903	551	44,140	銀行	
BAPCOR LTD	1,074	797	63,874	小売	
CARSales.COM LTD	354	531	42,573	ソフトウェア・サービス	
ECLIPX GROUP LTD	787	197	15,835	各種金融	
ESTIA HEALTH LTD	3,849	923	73,993	ヘルスケア機器・サービス	
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	3,707	945	75,728	銀行	
REGIS HEALTHCARE LTD	1,458	437	35,037	ヘルスケア機器・サービス	
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,802	657	52,692	電気通信サービス	
SERVICE STREAM LTD	1,880	331	26,582	資本財	
SOUTHERN CROSS MEDIA GROUP L	5,043	665	53,330	メディア	
RELiance WORLDWIDE CORP LTD	1,400	766	61,374	資本財	
TRADE ME GROUP LTD	1,741	830	66,555	小売	
BEGA CHEESE LTD	550	396	31,719	食品・飲料・タバコ	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	52,068 42	43,797 —	3,508,182 <95.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2018年9月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,508,182	% 90.2
コール・ローン等、その他	382,888	9.8
投資信託財産総額	3,891,070	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,545,972千円)の投資信託財産総額(3,891,070千円)に対する比率は91.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=80.10円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年9月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,891,070,818 円
コール・ローン等	338,972,900
株式(評価額)	3,508,182,846
未収配当金	43,915,072
(B) 負債	228,281,239
未払金	228,281,036
未払利息	203
(C) 純資産総額(A-B)	3,662,789,579
元本	3,557,231,565
次期繰越損益金	105,558,014
(D) 受益権総口数	3,557,231,565口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,297円

<注記事項>

- ①設定元本額 199,940,000円
 期中追加設定元本額 3,543,785,035円
 期中一部解約元本額 186,493,470円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0297円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	3,547,526,701円
オーストラリア高配当株式ファンド(年2回決算型)	9,704,864円
合計	3,557,231,565円

○損益の状況 (2018年3月5日~2018年9月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	51,418,670 円
受取配当金	51,360,421
受取利息	82,522
支払利息	△ 24,273
(B) 有価証券売買損益	△101,582,359
売買益	79,044,131
売買損	△180,626,490
(C) 保管費用等	△ 8,376,732
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 58,540,421
(E) 追加信託差損益金	173,054,965
(F) 解約差損益金	△ 8,956,530
(G) 計(D+E+F)	105,558,014
次期繰越損益金(G)	105,558,014

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。